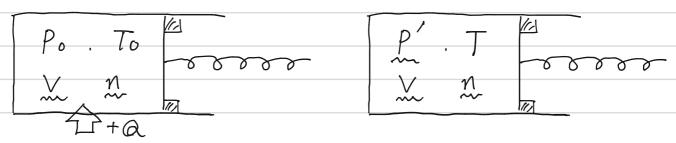
157

(1)ピストンも固定(ているので、カのつりあいの式はたてられなり。



~1寸不明数

状態、方程ゴより

1 PX=nRT

辺々害りて

$$\frac{P_0 X}{P' X} = \frac{nRT_0}{nRT}$$

$$\Rightarrow \frac{P_0}{P'} = \frac{T_0}{T} \qquad P' = \frac{T}{T_0} P_0$$

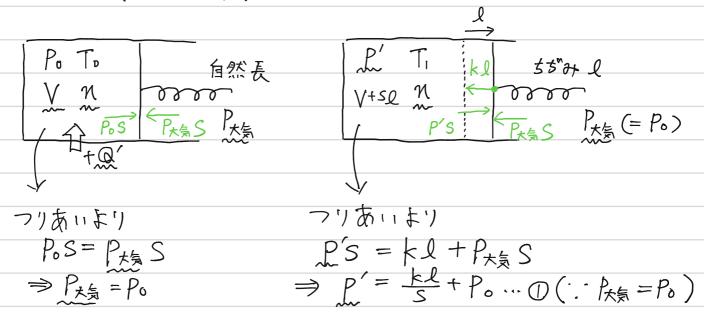
※ボイル・シャルルを使うのはせける、状態方程式をたてる 習慣をつけよる。

熱力学第一法則より

※三の変化より定積モルに熱CVをおめると

|157| 続き

(2) カのつかいとだれずにたてる



AU1=7117

単原子分子理想気体と書いてないのではU=MRATは使えない、 ⇒ △U=n Cv△T を用いる。

$$C_{V}(t_{1}) \circ x = \frac{Q}{n(T-T_{0})} z^{*} \delta_{3}$$

$$\Delta V = n C_V (T_1 - T_0)$$

$$= n \cdot \frac{Q}{n(T - T_0)} (T_1 - T_0)$$

$$= \frac{T_1 - T_0}{T - T_0} Q$$

Wについて 考え方は2つ、と"ちらも大もの.

考え方の エネルギー収支

$$D$$
 エネルギー収支
体がした仕事) = (気体以外 が得るエネルギー)
 W_{out} = $\frac{1}{2}kl^2 + P_oSL + Q$
 χ_{ix} かれる 大気の W_{in} エネは増えない
 χ_{ix} いの は = $\frac{1}{2}kl^2 + P_oSL_{\mu}$ (運動エネヤ位置エネ)

$$\therefore W_{\text{out}} = \frac{1}{2}kl^2 + P_0Sl_{\text{H}}(I)$$
 (運動

[157] (2) 続き

考えた② P-Vかラフの面積 (=55の方が かすすめ)

アの増加に供い、直線的に変化する。 ランの生割かとVの土割かは 連動しているので、 Vo + 割かに供い、直線的に Vo + 割かに作い、直線的に

りはおりかといえる.

面積がWoutとなるので

$$W_{out} = (P_o + P_o + \frac{kl}{S}) \cdot Sl \cdot \frac{1}{2} \quad (台形) \circ f \cdot \frac{1}{2}$$

$$= P_o Sl + \frac{1}{2} kl^2 + (I)$$

Q1=7112

$$Q_{in} = 2U + W_{out} + V$$

$$Q_{in} = \frac{T_1 - T_0}{T - T_0} Q + P_0 S I + \frac{1}{2} k I^2$$
(7)